

平成28年度 発達障害の可能性のある児童生徒等に対する早期・継続支援事業
(発達障害早期支援研究事業)
成果報告書(概要版)

実施機関名(名張市教育委員会)

1. テーマ

発達障害支援アドバイザーを活用した発達障害の可能性のある児童の途切れない支援の構築 ～教育センターと学校の連携を通して～

2. 問題意識・提案背景

名張市においては、平成19年度より特別支援教育の体制整備を行ってきた。各校には、特別支援教育校内委員会を設置するとともに、特別支援教育コーディネーターを配置し、体制整備の充実に取り組んできた。また、特別支援教育コーディネーターの束ね役となる小中学校合わせて7名がチーフコーディネーターとして、名張市の特別支援教育の中心となり活動してきている。児童生徒の状況については、特別支援学級在籍児童生徒は増加の一途をたどり、通常の学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒も国の調査と同様の割合で在籍している。特別支援学級在籍の児童生徒については、個別の指導計画や個別の教育支援計画が整備され、途切れのない支援ができています。しかし、通常の学級については、支援が少しずつ充実してきてはいるが、個別の指導計画の作成率等での課題があり、さらなる取組が必要な状況である。

3. 目的・目標

目的：指定校アドバイザーの配置により、配置校の発達障害の可能性のある児童を早期発見し、早期支援体制を確立するとともに、拠点校アドバイザーと連携しながら、発達障害の可能性のある児童の支援の充実を図る。

目標：

- ・発達障害通級指導教室およびばりっ子チャレンジ教室に通う児童をはじめ、指定校に在籍する発達障害の可能性のある児童が、学校生活によりよく適応することができる。
- ・対象児童の個別の教育支援計画を作成し、指導経過、支援のポイントをまとめ、有効な途切れない支援を実現させる。

4. 主な成果

(1) 拠点校・指定校では、学習面や行動面で何らかの困難を示す児童に対して、「アセスメントシート」や「行動振り返りシート」を活用し、個々の児童の困難を分析しながら適切な目標設定を行い、支援方法を工夫していくことができた。

- (2) 学習面で困難を示す児童への支援として、「座席位置の配慮」等、「学習環境の調整」に取り組み、児童の授業への集中を促すために有効であった。また、対象児童の学習課題を調整し「できる」経験を重ねさせることや、シールを用いた「成果が分かりやすい評価」等、児童に達成感をもたせ、自信と学習意欲を高めさせるための工夫も有効であった。
- (3) 友だちとトラブルになる等、人との関わりやコミュニケーションに関する課題に対しては、「①モデルを見せる等して、適切な関わり方を理解させる。②支援者と一緒に練習（ロールプレイ）させる。③集団の中でそのスキルを活用できるようにする。」という一連の支援が有効であることが、多くの事例で確認できた。
- (4) 一斉指導における工夫改善として、「『めあて』と『活動の流れ』を明確にした分かりやすい授業づくり」に、全ての学校で取り組んだ。授業の初めに「めあて」と「学習活動の流れ」の提示し、それとともに、「視覚支援」「簡潔な指示」「具体的な指示」「ルールの明確化」等、授業方法を工夫することによって、児童は、目標達成のために何をすべきかが分かり、学習意欲が高まっていった。
- (5) 拠点校・指定校においては、校内委員会で対象児童の支援の評価を行い、「支援内容の評価」や「目標の確認」等、その進捗管理を行うことができた。
- (6) 平成28年度チャレンジ教室に11名の児童が、拠点校及び指定校から参加した。これらの児童については、拠点校アドバイザーや指定校アドバイザーがチャレンジ教室での支援と学校生活をつなぐことができたため、より有効な手立てを見出すことができた。
- (7) 対象児童の個別の支援計画を作成し、有効な支援をまとめ、引き継ぐことができた。
- (8) 発達障害早期支援アドバイザー連絡調整会議では、拠点校アドバイザーと指定校アドバイザーが、各校での取組の状況を報告し、講師のアドバイスや相互の意見交換によって、それぞれの専門性を高めることができた。
- (9) 発達障害早期支援研究事業運営協議会を2回開催し、取組内容について専門的な見地から、貴重なアドバイスをいただくことができた。

5. 指定校における取組概要

(1) アドバイザーの配置

拠点校アドバイザー1名と指定校アドバイザー7名が、各校において、通常の学級に在籍する児童について、支援が必要な児童を特定し、有効な支援方法を見出していった。拠点校アドバイザーは、指定校を巡回し、指定校アドバイザーや担任・コーディネーター等に指導・助言を行った。拠点校アドバイザー及び指定校アドバイザーは、自校で授業や子供の様子を観察し、知見をもとに特別支援教育コーディネーターや学級担任に、情報提供や指導助言を行った。

拠点校アドバイザーの巡回指導件数：28件

(2) 連絡調整会議

年間5回の連絡調整会議をもち、アドバイザー同士が情報の交換をしたり、支援のあり方について協議したりした。この会議には、特別支援学校教諭等の講師も招聘し、助言を受けながら協議を進めた。

支援事例報告件数：のべ73件

事例検討数： のべ18件

(3) 「ばりっ子チャレンジ教室」との連携

名張市教育センターにおいて教育課程外で実施している発達支援教室「ばりっ子チャレンジ教室」を有効な手だての検証の場として活用した。

ばりっ子チャレンジ教室参加児童数：12名（内11名は指定校の児童）

(4) 各校での取組概要

ア. 目的・目標

- ・拠点校・指定校に在籍する発達障害の可能性のある児童が、学校生活によりよく適応することができる。
- ・対象児童の個別の教育支援計画を作成し、指導経過、支援のポイントをまとめ、有効な途切れのない支援を実現させる。

イ. 学習面や行動面で何らかの困難を示す児童生徒の明確化

- ・担任による状況調査
- ・アドバイザーによるアセスメント
- ・「アセスメントシート」「行動振り返り表」
- ・アドバイザー、担任、コーディネーター等での情報共有

ウ. 学習面や行動面で何らかの困難を示す児童生徒に対する支援内容

- ・授業（一斉指導）における指導方法の工夫内容
授業のめあての明確化、授業の流れの明確化、授業最後の振り返り、指示の明確化、個別説明、環境調整、視覚支援、行動分析、学習サポーターとの連携等。
- ・放課後補充指導等の個別の指導における指導方法の工夫内容
対象児童へのチャレンジ教室の紹介・推奨、チャレンジ教室との連携・相談、個別の指導計画の共通理解・検討等。

エ. 学習面や行動面で何らかの困難を示す児童生徒に対する支援内容の妥当性の評価手法

- ・校内委員会における報告・相談等
- ・個別の指導計画
- ・事例研究

(5) 市内小中学校への還流

本事業の成果と課題をまとめて、年度末の特別支援教育コーディネーター連絡会で報告し、三重大学附属特別支援学校のスーパーバイズを受けながら、市内各校への還流を行った。

6. 今後の課題と対応

(1) 市内各校における校内委員会を中心とした早期支援の充実

拠点校・指定校においては、アドバイザーとの連携により、校内委員会を中心として、学校生活で困難を示す児童に対する早期支援を充実させる取り組みが図られてきた。名張市では、全ての学校において、定期的に校内委員会を開催しており、校内委員会を中心とした支援体制は整ってきている。また、校内

委員会において検討するケース数も増えてきている。今後は、市内の全ての学校において、支援対象児童の進捗管理を確実に進めるよう、さらに取組を進める必要がある。そのために、リーフレット「子どもの育ちを支援するために」等を活用して、拠点校・指定校以外の学校に本事業の成果を還元し、発達障害の可能性のある児童の早期発見・早期支援の取組を広げていきたい。

(2) 個別の指導計画の有効活用

名張市においては、特別支援学級在籍児童・生徒の個別の指導計画作成率はほぼ 100%である。しかし、通常の学級に在籍する特別な支援が必要な児童・生徒に対する支援については、本事業の成果もあって個別の指導計画作成率が増加しているものの、さらなる取組が必要な状況である。本事業では、対象児の支援について、優先課題の絞り込みから適切な目標設定を行い、それに対する有効な支援を計画してPDC Aサイクルで進めることにより、効果が確実に表れることが検証できた。校内支援体制のもと、このような手法で個別の指導計画を立てて支援を進めれば、通常の学級に在籍する児童に対する「途切れない支援」がさらに充実するものと思われる。

今後、市内各校に本事業の成果を広め、通常の学級における個別の指導計画を活用した途切れない支援の構築を図っていきたい。

7. 指定校について

(小学校)

児童生徒数・職員数・学級数は、平成28年5月1日現在

学校名：つつじが丘小学校<拠点校>													
	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	
通常の学級	102	4	101	4	94	3	99	3	99	3	108	4	
特別支援学級	4		4		1		4	1	1		3	3	
通級による指導 (対象者数)			1										
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	事務職員	自立 支援員	学習サポ ーター	アドバイ ザー	S C	ALT	その他	計
教職員数	1	1	26	1	12	1	2	2	1	1	1	2	51

学校名：名張小学校													
	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	
通常の学級	66	2	51	2	51	2	46	2	44	2	40	2	
特別支援学級	6		2		7		2		5	1	3	3	
通級による指導 (対象者数)	1		2		1		1				1		
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	事務職員	自立 支援員	学習サポ ーター	アドバイ ザー	S C	ALT	その他	計
教職員数	1	1	16	1	6	1	3	1	1	1	1	1	34

学校名：美旗小学校													
	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	
通常の学級	56	2	57	2	64	2	58	2	52	3	60	2	
特別支援学級	4		6		2		1		7	3	2	2	
通級による指導 (対象者数)					1								
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	事務職員	自立 支援員	学習サポ ーター	アドバイ ザー	S C	ALT	その他	計
教職員数	1	1	19	1	6	1	3	1	1	1	1	1	37

学校名：錦生赤目小学校													
	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	
通常の学級	31	1	40	2	25	1	39	2	42	2	33	1	
特別支援学級	1						1		2	1	1	1	
通級による指導 (対象者数)													
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	事務職員	自立 支援員	学習サポ ーター	アドバイ ザー	S C	ALT	その他	計
教職員数	1	1	11	1	5	1	1	1	1	1	1	1	26

学校名：桔梗が丘小学校													
	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	
通常の学級	83	3	94	3	81	3	69	2	69	2	83	3	
特別支援学級	1		2		2	1	2				1	1	
通級による指導 (対象者数)					1								
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	事務職員	自立 支援員	学習サポ ーター	アドバイ ザー	S C	ALT	その他	計
教職員数	1	1	19	1	5	1	2	1	1	1	1	1	35

学校名：すずらん台小学校													
	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	
通常の学級	30	1	25	1	33	1	34	1	28	1	41	2	
特別支援学級	5		3		1		4	2	1	1			
通級による指導 (対象者数)													
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	事務職員	自立 支援員	学習サポ ーター	アドバイ ザー	S C	ALT	その他	計
教職員数	1	1	10	1	4	1	2	1	1	1	1	0	24

学校名：梅が丘小学校													
	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	
通常の学級	46	2	54	2	48	2	54	2	62	2	45	2	
特別支援学級	4		1	1	2				2	1	2	1	
通級による指導 (対象者数)			1										
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	事務職員	自立 支援員	学習サポ ーター	アドバイ ザー	S C	ALT	その他	計
教職員数	1	1	18	1	4	1	2	1	1	1	1	1	33

学校名：百合が丘小学校													
	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	
通常の学級	79	3	52	2	70	3	82	3	81	3	74	3	
特別支援学級	3		3		3		3		5	1	2	2	
通級による指導 (対象者数)					2		1		1		1		
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	事務職員	自立 支援員	学習サポ ーター	アドバイ ザー	S C	ALT	その他	計
教職員数	1	1	23	1	8	1	3	0	1	1	1	2	43

8. 問い合わせ先

組織名： 名張市教育委員会

- (1) 担当部署 名張市教育委員会事務局学校教育室
- (2) 所在地 名張市鴻之台1番町1番地
- (3) 電話番号 0595-63-7882
- (4) FAX番号 0595-63-9848
- (5) メールアドレス gakkou@city.nabari.mie.jp